

やってみよう!

裏面の解説もご覧ください。

# 自己診断～災害から命を守りましょう～



令和3年中の住宅火災における出火原因（町田消防署管内）

【第1位】電気関係（テーブルタップ、コンセント、その他電気製品からの出火）…42%

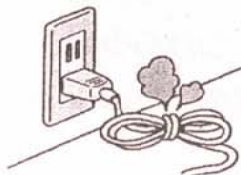
【第2位】ガス設備機器（ガスコンロ、ガステーブル等からの出火）…20%

【第3位】放火…8%

上記の出火原因のほか、近年は「リチウムイオン電池」の処分に起因する火災も増加しています。下記の自己診断で、住宅火災を防ぎましょう!

## ・電気関係

- プラグやコンセントは定期的に掃除をしていますか
- 使っていないプラグを抜いていますか
- テーブルタップは許容電流の範囲内で使用していますか
- 電気コードを束ねたまま使用したり、家具等で踏みつけたりしていませんか



## ・ガス関係

- コンロの周りに燃えやすいものを置いていませんか
- 調理中に火を使用しているコンロから離れていませんか
- コンロを使用する際に、火が鍋底からはみ出さないように調節していますか
- グリルの中は、油かすなどで汚れていませんか



## ・放火

- 家の周りは整理整頓し、燃えやすいものを置いていませんか

## ・リチウムイオン電池関係

- リチウムイオン電池を使っている家電の処分方法は適切ですか  
【電池は外せますか?外せない小型家電の対応はご存知ですか?】
- 電池を捨てるときは有害ごみ（電池）の日に出していますか
- 電池を捨てるときには、電極部分にビニールテープ等を巻いて、絶縁してからごみに出していますか

問合せ先

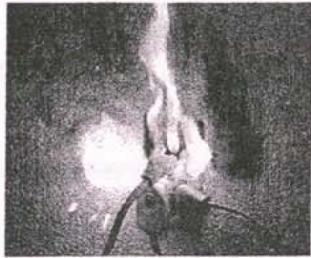
町田消防署 警防課防災安全係 地域防災担当

TEL 042-794-0119 (内線323)

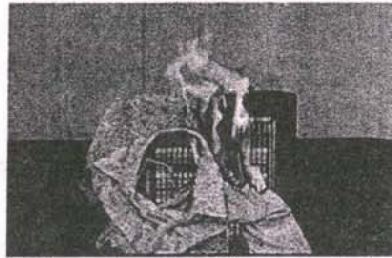
# 自己診断～解説編～

- ・電気関係 電気火災の中でも、コード、プラグ、コンセントに起因する火災は、火を使用している意識がないため、火災に気づきにくく危険です。定期的にプラグ等の掃除をし、電気コードが家具の下敷きになったり折れ曲がらないよう注意しましょう。

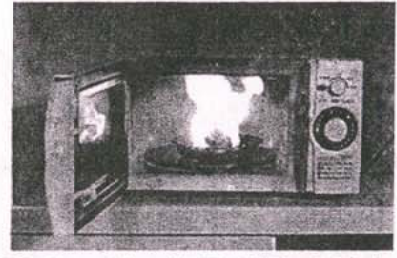
## 【電気火災の例】



コンセントに埃がたまり出火



ストーブに衣類が落下し出火



電子レンジの使用不適による出火

- ・ガス関係 コンロ周りは整頓し、キッチンペーパーや布巾など燃えやすいものは置かないようにしましょう。また、火を使用しているコンロから少しでも離れる際は一度火を止めてから離れましょう。防災品のエプロンやアームカバーを使用すると着衣への着火防止に有効です。

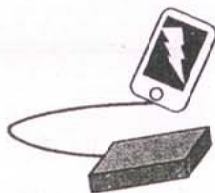


◀ 防災品は左の性能マークが目印！！  
防災品を使うことで、火災の発生を防止し、延焼を抑えることができます。

- ・放火 家の周囲には、ゴミ等の燃えやすいものは置かないようにし、整理整頓に努めましょう。

## ・リチウムイオン電池関係

リチウムイオン電池は、ごみの収集中などで強く圧迫されると、発火することがあります。この電池が使われている製品の例としては、デジタルカメラ、ノートパソコン、モバイルバッテリー、電気シェーバー等があります。これらの家電を処分するときは、電池を取り外し、絶縁してから有害ごみ（電池）の日に出しましょう。電池を取り外すことができない家電は、市民センターなどの公共施設に設置された小型家電回収ボックスかリサイクル広場（地域リサイクル広場を除く）へ出すようにしましょう。



燃やせないごみの収集中に、リチウムイオン電池が原因で、ごみ収集車や清掃工場での火災が増えるよ！



詳しくは、町田市のごみの分別方法をチェック！